



週間情報



No.0545

発行日 令和5年12月5日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

両会の動き

◆ 令和5年度消防職員体力錬成研修会を開催

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部では、令和5年11月14日（火）、大阪府大阪市のA s u eアリーナ大阪において、兵庫県内・大阪府内の消防職員を対象とした、令和5年度消防職員体力錬成研修会を開催しました。

この研修会は、消防職員の体力錬成を通じて、職員相互の交流・親睦を深めるとともに、同地区支部における消防体制の連携強化を図ることを目的とするもので、新型コロナウイルス感染症などの影響により4年ぶりの開催となりました。

当日は、各消防本部から55人（最年長60歳、平均年齢44歳）が参加し、体幹部トレーニング、体力強化トレーニング、柔軟性確保のためのヨガトレーニングを実施しました。

研修会後のアンケートでは、「所属でフィードバックし、職員のパフォーマンスの向上につなげたい。」「今後も、高齢期職員向けの体力維持やけが防止に重点を置いた内容の研修会を実施してほしい。」など、当研修会の継続を希望する声が多く聞かれ、大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

◆ 消防実務講習会（令和５年度予防業務研究会）を開催

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部では、令和５年１１月１７日（金）、滋賀県大津市（琵琶湖ホテル）において、地区支部内の６５消防本部１０４人が出席し、消防実務講習会（令和５年度予防業務研究会）を開催しました。

講習会では、開催地事務局である大津市消防局の駒村予防課長のあいさつに始まり、講師にお招きした総務省消防庁予防課明田大吾設備専門官から「近年の予防行政の動向について」、大阪市消防局予防部予防課の３人の方々から「大阪市北区ビル火災の概要と当局の取り組みについて」ご講演いただきました。

最後に、大津市消防局予防課から「自主防火管理体制の強化を図る取り組みについて」情報提供いただき、参加者にとって今後の業務に大いに役立つ、大変有意義な講習会となりました。

講習会の内容は、以下のとおりです。

● 講義 1

「近年の予防行政の動向について」

講師 総務省消防庁 予防課 設備専門官 明田 大吾 氏

● 講義 2

「大阪市北区ビル火災の概要と当局の取り組みについて」

講師 大阪市消防局 予防部予防課 殿尾 有史 氏

坂口 俊輔 氏

坂本 尚生 氏

● 情報提供

「自主防火管理体制の強化を図る取り組みについて」

講師 大津市消防局 予防課 設備係主査 中澤 知久 氏



【講習会の様子】

◆ 緊急消防援助隊の受援などに関する研修会を実施

香川県消防長会（香川）

香川県消防長会では、令和5年11月16日（木）、緊急消防援助隊の受援などに関する研修会を実施しました。

当日は、静岡市消防局安全対策課の入澤太一氏を講師としてお招きし、令和3年熱海市土石流災害での経験から得た課題などを交え、受援側として必要な準備・訓練・心構えについてご講義いただきました。

「やることをやって、いつか来る大規模災害を待ち受ける。地元で何とかするのみではなく、広域応援制度を有効に活用し、一人でも多くの住民を助ける。」という講師のお言葉が特に印象的でした。

今後もこの言葉を心に刻み、県内消防本部の受援体制強化のため、さまざまな研修会や訓練を企画し、県内消防本部の受援体制の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

行事

消防本部の動き

◆ 東備消防組合設立50周年記念式典を挙行政

東備消防組合消防本部（岡山）

東備消防組合消防本部では、令和5年11月18日（土）、東備消防組合設立50周年記念式典を挙行政しました。

式典には、日頃から消防業務にご協力いただいている皆さまを来賓としてお招きし、消防功労者表彰を実施したほか、一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受けました。

また、消防業務について楽しみながら理解を深めていただくことを目的として、消防フェスティバルを開催し、子どもたちが放水体験、はしご車搭乗体験、ホースにお絵描きなどを実施しました。

今後も地域防災の要として、誰もが安心して暮らせるよう、消防力の強化に取り組んでまいります。



【記念式典での記念撮影】



【消防フェスティバルの様子】

訓 練

◆ 東京電力パワーグリッド株式会社と電気事故連携訓練・安全管理研修を実施

熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和5年11月8日（水）、9日（木）、13日（月）の3日間、東京電力パワーグリッド株式会社と合同で、電気事故連携訓練・安全管理研修を実施しました。

当日は、東京電力パワーグリッド株式会社熊谷送電線研修所において、電気事故連携訓練を実施したほか、当消防本部の熊谷消防署において、同社の職員を対象とした安全管理研修を実施しました。

当訓練により、安全管理の重要性について相互に再確認するとともに、同社との間で電気事故における救助体制の連携強化を図ることができました。

今後も多様化する災害に対応するため、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

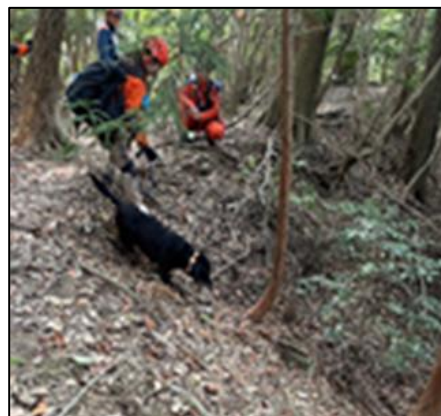
◆ 日本レスキュー協会と山岳搜索救助合同訓練を実施

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、令和5年11月14日（火）、国営明石海峡公園神戸地区あいな里山公園において、認定NPO法人日本レスキュー協会と山岳搜索救助合同訓練を実施しました。

当日は、同協会と災害救助犬を活用したドッグサーチの手法と難所における通過方法について共有したほか、ドローンを活用した情報収集を実施するとともに、スマートフォンやスマートタグなどのGPS機器を活用して搜索隊員・災害救助犬の位置や軌跡を指揮所で管理し、効果的な部隊管理と搜索方法の検証を実施しました。

今後も山岳救助事案に備えるため、さらなる搜索救助能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者災害対応訓練を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和5年11月16日（木）、多数傷病者災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、多数の傷病者が発生した場合に、迅速・的確な活動を実施するため、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、約50人の職員が参加し、多数傷病者が発生した事案を想定して、ドローンを活用した上空からの映像を基に、災害の規模と被害状況を迅速に把握して活動プランを組み立てました。

今後も訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研修

◆ 消防職員研修会を実施

三沢市消防本部（青森）

三沢市消防本部では、令和5年11月10日（金）、青森県消防学校のご支援のもと、消防職員研修会を実施しました。

当日は、県内の消防本部から多数の職員が参加し、元渋川広域消防本部消防長の青山省三氏を講師にお招きし、「リーダーとして～自ら考え行動する組織作り～」と題して、消防活動を中心とした組織のあり方や人材育成の必要性についてご講演いただきました。

この研修会を通じて、リーダーの重要性と人材育成の大切さについて再認識できた有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

◆ 消防用可搬式動力ポンプ修理研修を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和5年11月13日（月）、14日（火）の2日間、消防用可搬式動力ポンプ修理研修を実施しました。

この研修は、同ポンプの分解や組み立てなどを通じて、内燃機の構造や機能を理解し、簡易な修理を行える技術を習得することを目的として実施したものです。

当日は、機械に詳しい職員を講師として、同ポンプの構造について座学を行った後、エンジンがかからないなどの理由で修理が必要な同ポンプ3台を修理しました。

これまで、故障した同ポンプの修理費に年間数十万円以上を支出していましたが、今後は、業者に修理を依頼する前に、まずは職員で修理できるよう人材育成してまいります。



【研修の様子】

◆ 会津三広域消防本部合同研修会を開催

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部（福島）

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部では、令和5年11月16日（木）、会津三広域消防連絡協議会を構成する3消防本部（喜多方地方広域市町村圏組合消防本部、南会津地方広域市町村圏組合消防本部、当消防本部）による、会津三広域消防本部合同研修会を開催しました。

当日は、3消防本部から164人が参加し、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会のご支援のもと、武蔵野大学心理臨床センターの笹川真紀子氏を講師としてお招きし、「ハラスメントとコミュニケーション」と題して、ハラスメント防止の重要性についてご講義いただきました。

今後も、当研修会で深めた知識や対応策を生かして、ハラスメント撲滅に向けた取り組みを継続してまいります。



【研修会の様子】

◆ 令和5年度消防職員危機管理研修を実施

北アルプス広域消防本部（長野）

北アルプス広域消防本部では、令和5年11月16日（木）、令和5年度消防職員危機管理研修を実施しました。

当日は、神戸学院大学教授で元読売新聞大阪本社災害担当編集委員の安富信氏を講師としてお招きし、「広報とは住民の生命を守る一手段である。」という定義のもと、具体例を示しながら、「広報は戦略的であるべきこと。」「住民の行動につながらないと意味がないこと。」などについてご講義いただきました。

また、報道対応の基礎を学ぶため、グループに分かれて、架空の危機管理事象から報道発表資料を作成し、それぞれ模擬記者会見を行い、講師から講評をいただきました。

今後も研修を継続し、住民への効果的な情報発信に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ ハラスメント防止研修を実施

鹿行広域事務組合消防本部（茨城）

鹿行広域事務組合消防本部では、令和5年11月14日（火）から17日（金）までの4日間、職員教養の一環として、ハラスメント防止研修を実施しました。

この研修は、ハラスメントのない風通しの良い職場環境を構築することを目的として実施したものです。

当日は、株式会社話し方教育センターから2人の講師をお招きし、ハラスメントへの理解、職場内でのコミュニケーションの取り組み方、上司への報告方法などについてご講義いただきました。

今後は、この研修で学んだことを業務に生かし、良好な組織体制を目指してまいります。



【研修の様子】

◆ 警防勉強会を実施

湖北地域消防本部（滋賀）

湖北地域消防本部では、令和5年11月16日（木）、17日（金）の2日間、警防勉強会を実施しました。

この勉強会は、職員の「なぜ」や「知りたい」を解消することで、仕事に対する意欲の向上、知識の習得、職場内でのコミュニケーションの向上を図ることを目的として、本部警防課が中心となり定期開催しているものです。

当日は、全職員の約3割の職員が参加し、「受援体制」をテーマとして、大規模災害時の国・都道府県・市町村の関係、本部災害対策指揮本部運用規程の概要、受援時の広域応援などについて教養を深めました。



【勉強会の様子】

◆ 鉄道車両事故対応研修を実施

飯塚地区消防本部（福岡）

飯塚地区消防本部では、令和5年11月17日（金）、九州旅客鉄道株式会社において、鉄道車両事故対応研修を実施しました。

この研修は、鉄道車両事故における現場対応力と救助隊員の知識・技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同社の職員から鉄道車両における基礎知識についてご講義いただいた後、鉄道技術専門職員のご指導のもと、救助資機材を活用した鉄道車両の持ち上げ訓練を実施しました。

今後も関係機関との連携強化を図り、さらなる災害対応力の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

そ の 他

◆ 管理者点検と消防職員意見発表会を実施

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（静岡）

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部では、令和5年11月9日（木）、秋季全国火災予防運動の一環として、管理者点検と消防職員意見発表会を実施しました。

管理者点検では、管理者である勝又正美御殿場市長による服装点検の後、令和5年度採用職員が訓練展示を行い、教育の成果を披露しました。

その後、「第31回静岡県消防職員意見発表会」の推薦予選会を実施し、4人の職員が発表しました。



【訓練展示の様子】



【意見発表会後の記念撮影】

◆ 救急活動協力者に感謝状を贈呈

芳賀地区広域行政事務組合消防本部（栃木）

芳賀地区広域行政事務組合消防本部では、令和5年11月16日（木）、救急活動協力者の6人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年6月21日（水）、管内の飲食店において、心肺停止の女性に対して、同飲食店の従業員と来客者が協力し、119番通報、AEDを活用した除細動を実施したものです。

女性は、病院で治療後、社会復帰しました。

協力者の冷静な判断と連携により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 救急活動協力者に感謝状と記念品を贈呈

川西市消防本部（兵庫）

川西市消防本部では、令和5年11月21日（火）、救急活動協力者の2人に対して、消防長から感謝状と記念品を贈呈しました。

本事案は、令和5年9月15日（金）、管内の路上において、心肺停止となった男性に対して、2人が協力して119番通報と胸骨圧迫を行うとともに、近隣に設置されているAEDを活用した除細動を実施したものです。

男性は、救急隊が現場に到着した時には、心拍と自発呼吸が再開しており、搬送先の病院で治療後、社会復帰しました。

協力者の迅速・適切な救命リレーにより、尊い命が救われました。



【感謝状と記念品贈呈後の記念撮影】

◆ 救助活動協力団体に感謝状を贈呈

岳北消防本部（長野）

岳北消防本部では、令和5年11月22日（水）、救助活動協力団体に対して、岳北広域行政組合長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年10月27日（金）、長野県と新潟県にまたがる登山道で負傷した男性を、一般財団法人日本笑顔プロジェクトの職員が、同法人所有のバギーを活用して、麓で待機していた救急車まで搬送し、医療機関への早期収容に貢献したものです。

今後も、各機関と連携を図り、災害対応力の強化に努めてまいります。



【搬送で活用したバギー】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 郡山地方広域消防組合発足50周年記念動画を制作

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和5年11月9日（木）、郡山地方広域消防組合発足50周年記念動画を制作しました。

この動画は、50年の歴史を振り返るとともに、消防・救急活動などの躍動感のある映像と、組合構成市町の名所を取り入れた内容となっており、消防の力強さをPRするだけでなく、50年という歴史の中で住民とともに守ってきた、美しい景観や街並みを4K動画で表現することで、安全・安心で持続可能な社会を未来へ引き継いでいく意思を示したもので、当消防本部の公式YouTubeチャンネルで配信しています。

今後も、クリエイティブな動画を制作するとともに、写真撮影技術を生かした広報を継続してまいります。



【動画のサムネイル】



【YouTubeの二次元コード】

◆ 幼年消防南丹船井地区大会を開催

京都中部広域消防組合消防本部（京都）

京都中部広域消防組合消防本部では、令和5年11月9日（木）、秋季全国火災予防運動の一環として、スプリングスひよしにおいて、幼年消防南丹船井地区大会を開催しました。

当日は、管内の幼稚園・保育所（園）の子どもたちが一堂に集まり、「ぜったいに火あそびはしません。」と防火の誓いを行った後、火災予防を周知する内容のコンサートを実施し、子どもたちは音楽を楽しみながら、火災予防について意識を深めていました。



【大会の様子】

◆ 事業所と消防総合訓練を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和5年11月10日（金）、秋季全国火災予防運動の一環として、市内の事業所において、消防総合訓練を実施しました。

この訓練は、同事業所の自衛消防隊との連携強化を図り、火災発生時に効率的な消防活動を行い、地域防災力の充実強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「建物の3階で火災が発生した。」との想定で、同事業所の職員による119番通報、初期消火、避難誘導を行うとともに、消防隊による消火活動、はしご車を活用した救出活動、救急隊による救護活動を実施し、同事業所との連携の重要性について再確認しました。

訓練終了後、同事業所の職員に消火器の取り扱い要領を説明した後、水消火器を活用した消火訓練を実施しました。

今後も各種災害に対応できるよう訓練を継続し、災害対応力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防士体験イベントの開催

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和5年11月11日（土）、秋季全国火災予防運動の一環として、管内の保育園児とその保護者を消防署に招待し、消防士体験イベントを開催しました。

当日は、安曇野市消防団と連携し、放水体験、救助訓練展示などを実施しました。

参加した園児から、「消防士のお仕事は全部かっこいいから、将来消防士になりたい。」との声を聞くことができました。

今後も地域に密着したイベントを開催し、火災予防の啓発に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 八尾市幼年消防クラブ防火フェスティバルを開催

八尾市消防本部（大阪）

八尾市消防本部では、令和5年11月11日（土）、秋季全国火災予防運動の一環として、八尾市立総合体育館ウイングにおいて、八尾市幼年消防クラブ防火フェスティバルを開催しました。

当市幼年消防クラブは、市内の認定こども園の6園で構成され、幼年期における火災予防思想の高揚を図ることを目的として活動しています。

当日は、当市幼年消防クラブの4園から年長園児173人が参加し、演奏を通じて火災予防思想の高揚を図りました。



【防火フェスティバルの様子】

◆ 消防署開放デーを開催

茨木市消防本部（大阪）

茨木市消防本部では、令和5年11月11日（土）、当消防本部の西河原分署において、消防署開放デーを開催しました。

当日は、約400人が来場し、住宅用火災警報器の説明、特別救助隊によるロープ救助訓練の展示、電気火災実験を実施したほか、消火体験、がれき救助体験など子どもたちが消防業務について学びながらも楽しめるコーナーを設けました。

今後も各種広報活動を継続し、火災予防の啓発に努めてまいります。



【消防署開放デーの様子】



【がれき救助体験の様子】

◆ 直鞍防火少年・少女剣道大会を開催

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、令和5年11月11日（土）、宮若市内の柔剣道場において、直鞍防火少年・少女剣道大会を開催しました。

この大会は、スポーツを通して、防火・防災意識の高揚を図るとともに、消防業務への理解を深めてもらうことを目的として開催したものです。

当日は、8つの道場から38人の小学生が参加し、活気に満ちた大会となりました。

今後も、防火・防災に関する啓発活動を継続し、地域全体で火災・災害のない安全な街づくりに取り組んでまいります。



【大会の様子】



【大会後の記念撮影】

◆ 「わんぱく消防署長」と題したイベントを実施

飯田広域消防本部（長野）

飯田広域消防本部では、令和5年11月14日（火）、当消防本部の阿南消防署において、管内の保育園児を招待し、「わんぱく消防署長」と題したイベントを実施しました。

これは、幼少期に消防業務を体験することで、防火・防災意識の高揚を図ることを目的として実施したものです。

当日は、48人の園児が参加し、煙体験、救急体験、消火体験、救助体験などを行ったほか、ブーム付き多目的消防自動車による放水展示や職員が作成した防火紙芝居を実施しました。

将来、参加した園児が地域を守る担い手となってくれることを期待しています。



【イベントの様子】

◆ 住宅用火災警報器の設置促進に向けた広報を実施

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部（岩手）

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部では、令和5年11月9日（木）から15日（水）までの7日間、秋季全国火災予防運動の一環として、住宅用火災警報器の設置促進に向けた広報を実施しました。

当日は、職員が継走マラソンを実施したほか、管内のスーパーマーケットや量販店において、買い物かごにリーフレットを挿入するとともに、住宅用火災警報器の特設コーナーを設置していただきました。

リーフレットは、目を引くカラーデザインとし、手に取って見てもらえるように、文字数やレイアウトを工夫し作成しました。

また、この取り組みが地元紙に掲載され、住民に広く周知することができました。

今後も、住宅用火災警報器の設置促進に向けた広報を継続してまいります。



【継走マラソンの様子】



【リーフレットの様子】

◆ 救急車を活用した火災予防広報を実施

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和5年11月9日（木）から15日（水）までの7日間、秋季全国火災予防運動の一環として、救急車を活用した火災予防広報を実施しました。

これは、救急車に当消防本部のマスコットキャラクターである「たじ丸」のマグネットステッカーを貼り付け、火災予防の啓発を図ることを目的として実施したものです。

今後も同ステッカーを火災予防広報などに活用してまいります。



【マグネットステッカーを貼り付けた様子】

◆ キッザニア甲子園において消防署長特別査察を実施

西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局では、令和5年11月15日（水）、キッザニア甲子園において、秋季全国火災予防運動の一環として、消防署長特別査察を実施しました。

当日は、災害時の被害を未然に防止することを目的として、防火管理体制を確認したほか、避難経路、消防用設備等の維持管理の状況を確認しました。

今後も、安全・安心な街づくりに努めるとともに、防火対象物の安全性を確保してまいります。



【特別査察の様子】

◆ 消火設備を活用した消火訓練を実施

呉市消防局（広島）

呉市消防局では、令和5年11月15日（水）、管内の事業所の職員を対象に、消火設備を活用した消火訓練を実施しました。

当日は、粉末ABC消火器、大型消火器、移動式粉末消火設備を実際に活用した消火訓練を実施し、各種消火設備の使用方法について再確認していただきました。

また、当訓練の動画を当消防局公式YouTubeチャンネルに掲載予定です。



【消火訓練の様子】

◆ 関係町のマスコットキャラクターと広報活動を実施

東部消防組合消防本部（沖縄）

東部消防組合消防本部では、令和5年11月9日（木）から15日（水）までの7日間、秋季全国火災予防運動の一環として、管轄している与那原町・南風原町・西原町の関係町のマスコットキャラクターと広報活動を実施しました。

この活動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災の発生を未然に防止し、火災による死者を減少させることを目的として実施したものです。

今後も、関係町と連携しながら広報活動を継続し、住民の安全・安心な街づくりに努めていけるよう、火災予防に取り組んでまいります。



【広報活動の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

（消防危第330号、令和5年11月22日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/231122_kiho_1.pdf）に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁危険物保安室

担当：合庭、伊藤、嶋田

千葉、北中

TEL：03-5253-7524

Mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

報道発表

◆ 消防法施行規則の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募

（令和5年11月22日、消防庁）

消防庁は、消防法施行規則の一部を改正する省令（案）等について、令和5年11月23日（木）から令和5年12月22日（金）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/6b503ff3ef1086137721db6fb69e5947dfa609ec.pdf>）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課 米田補佐、田村

TEL 03-5253-7523（直通）

E-mail: yobo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

◆ 令和5年度消防団入団促進広報に関するイベントの実施

（令和5年11月27日、消防庁）

消防庁では、地域防災力の中核として重要な役割を果たしている消防団への入団を促進するための広報に取り組んでいます。

広報事業の一環として、「消防団入団促進サポーター」任命式及び広報用ポスター・PR動画（ショートドラマ）のお披露目を行います。あわせて、「第7回消防団PRムービーコンテスト」表彰式を行います。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kouhouibento.pdf>）に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

平山補佐、山下係長、栃本事務官、水野事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail: syobodan_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供**◆ 令和6年春の火災予防運動用ポスター等のあっせん等について****一般財団法人全国消防協会**

一般財団法人全国消防協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年春と秋の火災予防運動の時期に併せて、全国の消防本部に火災予防運動用ポスター等のあっせんを行っております。

令和6年春の火災予防運動用として、下記のとおりポスター等をあっせんいたしますので、貴消防本部の火災予防運動に是非ご活用ください。

記

- 1 令和6年度全国統一防火標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

- 2 あっせんするポスター等

以下の7種で、いずれもモデルは入江 日奈子（いりえ ひなこ）さんです。

種 別	ポスター			立看板用 ポスター	防火チラシ
	B 2	B 3（縦 型）	B 3（横 型）		
記 号	N－1	N－2	S－3	N－3 980 mm×360 mm	N－4
	S－1	S－2			

- 3 申込方法

所定の申込書により、FAXまたは郵送にて直接業者にお申し込みください。

- 4 申込先

熊谷印刷株式会社

〒135-0052 東京都江東区潮見2-3-4

TEL 03-6659-8102 FAX 03-6659-8107

- 5 申込締切日

令和5年12月22日（金）（業者必着）

- 6 その他

詳細は、各本部あてに送付したご案内文書（令和5年12月1日付全消協第215号）およびポスター等の見本をご確認ください。

【問合せ先】

業務課

担当：岩澤、石井（健）、茂呂

電話：03-3234-1321

◆ 指定店登録事業者からのお知らせ（令和5年11月分）

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、指定店登録事業者からのご案内をメールにて定期的に各消防本部へ配信しています。11月は以下の配信を実施いたしました。

お見逃しの方は、消防職員のみ公開している指定店専用Webサイト「消防優待マーケット」にてご確認ください。「消防優待マーケット」へのアクセス方法は、下記問合せ先にてご案内しています。

1 11月9日（木）配信

【冠婚葬祭】ブライダルジュエリーの特別販売：株式会社ニューアート・シーマ

2 11月15日（水）配信

(1) 【飲料・食料品】サプリメントの特別販売：カネカユアヘルスケア株式会社

(2) 【宿泊】ホテルオークラ東京ベイ特別宿泊プラン：株式会社ホテルオークラ東京ベイ

3 11月16日（木）配信

(1) 【日用品】アイリスオーヤマ製品の特別販売：アイリスオーヤマ株式会社

(2) 【飲料・食料品】生ズワイガニ・ホタテ等の特別販売：横浜冷凍株式会社

(3) 【医薬品等】がんリスク早期発見サービスの特別販売：株式会社 HIROTSU バイオサイエンス

4 11月22日（水）配信

(1) 【宿泊】学生会館ドーマーの特典：株式会社共立メンテナンス

(2) 【飲料・食料品】菓子詰め合わせ・ギフト商品等の特別販売：株式会社ブルボン

5 11月29日（水）配信

(1) 【住宅】シロアリ防除施工サービス等の割引：株式会社アサンテ

(2) 【医薬品等】家庭常備薬等の特別販売：白石薬品株式会社

6 11月30日（木）配信

(1) 【衣料品・スポーツ用品】各種シューズの特別販売：アシックス商事株式会社

(2) 【飲料・食料品】ワインの特別販売：ワインキュレーション株式会社

【問合せ先】

業務課

担当：石井健一、茂呂

メール：zaimu-5@fcj.gr.jp

◆ 第32回全国救急隊員シンポジウムを開催

名古屋市消防局
一般財団法人救急振興財団

名古屋市消防局、一般財団法人救急振興財団では、令和6年2月1日（木）、2日（金）の2日間、愛知県名古屋市において、下記のとおり第32回全国救急隊員シンポジウムを開催いたします。

記

1 開催日時

令和6年2月1日（木）9：30～17：40（開場・受付8：30～）

令和6年2月2日（金）9：00～13：00（開場・受付8：00～）

2 現地開催会場

名古屋国際会議場（愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号）

3 開催方式

現地会場にて全てのプログラムを開催し、一部のプログラムに限り併せてリアルタイムWEB配信を予定。

4 メインテーマ

【SPREAD ～名古屋から広げよう、垣根のない世界を～】

5 プログラム

【2月1日（木）】

- (1) 特別講演「スプレッド」
～救急隊と多職種の連携～
- (2) 教育講演1「救急隊の観察・処置について」
～更なる知識・技術の向上をめざして～
- (3) 教育講演2「地域包括ケアシステムとの連携」
～他機関と一体となり垣根を越えた繋がり～
- (4) 教育講演3「火災における多数傷病者発生時の対応について」
～既知の災害から円滑な連携を考える～
- (5) シンポジウム1「予防救急のスプレッド」
～今後の予防救急のあり方～
- (6) シンポジウム2「バイスタンダーケア」
～応急手当実施者へのサポートの現状と課題～
- (7) シンポジウム3「通信指令員教育」
～通信指令員教育の取り組みと課題～
- (8) シンポジウム4「多数傷病者対応」
～様々な災害への対応～
- (9) シンポジウム5「定年引上げ救急隊員の活躍と今後の展望」
～定年引上げ職員の活用への取り組み～
- (10) シンポジウム6「救急隊員の活動能力向上」
～救急隊員の身体的・心理的負担対策～
- (11) シンポジウム7「心肺蘇生を望まない傷病者への対応」
～組織の垣根を越えて～
- (12) パネルディスカッション1「関係機関との連携強化」
～他機関多職種と連携して～
- (13) パネルディスカッション2「救急需要対策① #7119」
～相談による安心安全の提供～
- (14) パネルディスカッション3「救急搬送体制」
～新型コロナウイルス感染症後の課題～

- (15) パネルディスカッション4「救急現場での医療との連携」
～傷病者の早期治療に向けて～
- (16) パネルディスカッション5「連続長時間出動に伴う救急隊の労務管理」
～救急活動事故を防ぐために～
- (17) スキルトレーニング1、2「ハイパフォーマンスCPR（HP-CPR）1、2」
～CPRの質と社会復帰率をもう一歩前へ～
- (18) スキルトレーニング3「分娩スプレッド（分娩介助方法）」
～分娩に対する現場の処置を体験する～
- (19) 市民公開講座「市民版BLSスプレッド」
～誰もがみんな胸骨圧迫マイスター～
- (20) 一般発表1～20

【2月2日（金）】

- (1) 教育講演4「四肢外傷の診断と治療」
～より早期に診断するために何ができるのか～
- (2) シンポジウム8「救急隊員教育」
～各地域における取り組み～
- (3) シンポジウム9「女性救急隊員の活躍と今後の展望」
～女性職員の活躍への取り組み～
- (4) パネルディスカッション6「指導救命士の役割」
～指導救命士の取り組みの現状と今後の展望～
- (5) パネルディスカッション7「救急需要対策② 救急活動とDX」
～情報で広がる連携～
- (6) パネルディスカッション8「これからの応急手当普及」
～現状と今後の展開～
- (7) スキルレクチャー「隊長のイメージは隊員にスプレッドできてる？」
～救急隊の現場活動は普段のトレーニングから～
- (8) スキルトレーニング4「観察サーキットトレーニング」
～見るから観るへ～
- (9) 総合討論「スプレッド これからの救急連携」
～名古屋から無限に広がる協力体制～
- (10) 一般発表21～31

6 その他

- (1) 参加に係る費用（参加費、資料代など）は徴収いたしません。
- (2) 参加につきましては、完全事前登録制といたします。第32回全国救急隊員シンポジウムホームページからご登録ください。
- (3) プログラムの内容は、今後、追加・変更などが生じることが考えられますが、第32回全国救急隊員シンポジウム専用ホームページにてシンポジウムに関する最新の情報を掲載し、随時更新しておりますので、是非ご覧ください。

[\(https://32nagoya99sympo.com/\)](https://32nagoya99sympo.com/)



←こちらの二次元コードからもアクセスいただけます。

【お問合せ先】	
名古屋市消防局 救急部救急課 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL: 052-972-3552 FAX: 052-972-3582	一般財団法人救急振興財団 事務局総務部企画調査課 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地 TEL: 042-675-9931 FAX: 042-675-9050

◆ 「第35回全国消防本部対抗駅伝競走大会」を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁陸上競技部会では、全国の消防本部などの同好者との交流を図り、相互の理解を深め、今後の消防業務に資することを目的として、恒例の全国消防本部対抗駅伝競走大会を次のとおり開催しますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1 大会名
第35回全国消防本部対抗駅伝競走大会
- 2 日時
令和6年2月24日（土） 13時00分スタート（受付：11時00分開始）
- 3 場所
東京都足立区千住五丁目荒川右岸河川敷（上流方向へ向かって走る、折返しコース）
- 4 競技実施方法
1区間5.0km×5区間
- 5 チーム編成
正選手5人、補欠2人、監督1人（監督は、選手を兼ねることが出来ます。）
各消防本部とも、原則1チームとし、2チーム目以降は、オープン参加とします。
- 6 申込方法
 - (1) 参加申し込み
メールの記事欄に「消防本部名」、「担当者名」、「連絡先（電話番号及びメールアドレス）」を記載し、問合せ先のメールアドレス宛に送信してください。
 - (2) 締切日
令和5年12月31日（日）
申し込み後に大会申込書を提出（令和6年1月15日（月）までの予定）していただきますので、申し込みは早めをお願いします。
 - (3) 大会申込書（選手名簿）の提出
参加申し込みをされた消防本部に、大会申込書、大会詳細などをメールで返信しますので、1週間を経過しても返信がない場合は、電話などにて確認をお願いします。
大会申込書の提出をもって参加申し込みが完了となりますので、ご注意ください。
- 7 参加料
1チーム 20,000円（ナンバーカード代、傷害保険代、参加賞などを含む。）
- 8 その他
申し込み及び問い合わせなどは、担当（中根）のメールアドレスまでお願いします。

【問合せ先】

担 当：中根 啓吾

電 話：090-6137-4045

メール：keigo.59.1234567890@gmail.com

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

○ 10401 旭川市消防本部

- 1 所在地
北海道旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター
- 2 移転日
令和5年11月27日（月）
- 3 連絡先
消防本部（代表） 0166-33-0119
- 4 その他
消防の組織体制に変更はございません。

旭川市消防本部

総務課 担当：長崎

電話：0166-23-4556

Mail：syoubou_soumu@city.asahikawa.lg.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 石原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。